

資料に親しむ会 令和4年度第7回

「軍記物語を読む 一検非違使のすがた一」

京都府立京都学・歴彩館職員が「軍記物語を読む 一検非違使のすがた一」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和4年11月1日（火）午後2時～3時

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 59名

■ 内 容 軍記物語の特徴や時代背景、検非違使の役割を説明したうえで、『保元物語』や『平治物語』、『平治物語絵詞』を読んだ。
会場に講座で使用した資料を展示することで、読み下した資料や絵巻物を実際に見られる工夫をした。

■ 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）

- ・軍記物語はあまり馴染みがなかったので、『保元物語』『平治物語』について初めて知ることができてよかった。今後勉強する糸口となった。
- ・『平治物語絵詞』の内容がよく分かった。
- ・資料が充実していた。
- ・原文をしっかり読み下してもらい、自分でも本文を読めそうだと感じた。
- ・平安時代末期の様子や、貴族・天皇の関わりが分かった。
- ・戦乱の中で検非違使がどのような役割を果たしたのかという視点がおもしろかった。

（講座の様子）

